

ハ、本報が本報の編輯一員として、  
ハ、本報が本報の編輯一員として、  
ハ、本報が本報の編輯一員として、

ハ、本報が本報の編輯一員として、  
ハ、本報が本報の編輯一員として、  
ハ、本報が本報の編輯一員として、

海軍一般  
海軍卿川村純義

と右へ開かんとして右のうたへよ  
と右へ開かんとして右のうたへよ  
と右へ開かんとして右のうたへよ

の指先を動かして一語すべし  
の指先を動かして一語すべし  
の指先を動かして一語すべし

時事新報

重テテ郵税増加ノ非ヲ論ズ  
重テテ郵税増加ノ非ヲ論ズ  
重テテ郵税増加ノ非ヲ論ズ

郵便改良法ニ付驛遞ノ當局者ハ大ニ我輩ト意見ヲ異コ  
郵便改良法ニ付驛遞ノ當局者ハ大ニ我輩ト意見ヲ異コ  
郵便改良法ニ付驛遞ノ當局者ハ大ニ我輩ト意見ヲ異コ

ガテ後レ増税論者ハ一ノ便利ヲ求ムルニ  
ガテ後レ増税論者ハ一ノ便利ヲ求ムルニ  
ガテ後レ増税論者ハ一ノ便利ヲ求ムルニ

人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)

人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)

人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)

人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)

人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)  
人口(明治十四年)

人口(明治十二年) 一六六、九四四  
 郵便物(明治十二年) 五三、一五五  
 一人一付郵便物ノ數平均 二六六個

人口(明治十三年) 四五、二二三、八八二  
 郵便物(明治十三年) 一、七七八、八〇八  
 一人一付郵便物ノ數平均 二十六個

人口(明治八年) 二〇六、八四四  
 郵便物(明治十二年) 一六七〇、二七三  
 一人一付郵便物ノ數平均 八個

人口(明治十年) 一六六、二五八  
 郵便物(明治十年) 八五二、〇〇〇  
 一人一付郵便物ノ數平均 五個

人口(明治十一年) 四三四、八五一  
 郵便物(明治十一年) 二〇〇、四九二  
 一人一付郵便物ノ數平均 四個六分

人口(明治十二年) 三五九、五三三  
 郵便物(明治十二年) 八三三、四〇一  
 一人一付郵便物ノ數平均 二個三分

人口(明治十三年) 八五四、六一四  
 郵便物(明治十二年) 一八九三、八五五  
 一人一付郵便物ノ數平均 二個二分

人口(明治十二年) 八五四、六一四  
 郵便物(明治十二年) 一八九三、八五五  
 一人一付郵便物ノ數平均 二個二分

人口(明治十二年) 八五四、六一四  
 郵便物(明治十二年) 一八九三、八五五  
 一人一付郵便物ノ數平均 二個二分

御所へ遷居に相成りしよし  
 ○北白川宮 麹町區平川町六丁目なる北白川宮御邸は、御遷居せし如く急遽落成に付、明後十九日御引移在せられ来る廿五六日頃ハ皇族、大臣、参議及び武官の方々を新邸に招待せられ、移轉式は祝宴を開くといふ

○香川敬三君 一昨日宮内少輔に榮轉せられたる香川敬三君には、是迄同省取給を以て得居られしが、右は同日免せられたりといふ

○長谷川貞雄君 本日の公報欄内にも掲げし如く海軍省にての統計課を置かれたるに付、同日長谷川主計大監の該課長と命せられたり

○區長事務心得 麻布區にての同區長の大藏少書記官に轉任せられしに付、昨日より同區書記村木義方氏が區長事務心得を命せられたり

○朝鮮修信使 同使朴泳孝氏の一行より最早近々歸國せらるゝに付、来る二十三日、野州日光山見物に赴むるゝよし

○山林學校幹事 農商務省山林局諸種田邊氏と一昨日山林學校幹事を命せられたり

○元老院 同院にて先頃より會議ありし商法中の爲換法の件ハ、己に決議に至り、内閣へ差出されたるよし

○森林法 豫て参事院に於て議せられたる森林法は、内閣に於て數條の意見を加へられ、猶まゝ同院へ返附せられしに付、今日日限を定めて再會議を開くゝよし

○會計豫算案 諸官省に於てハ、十五年會計上半年分は豫算案に對し支拂見込を差控へて來る十二月中旬に會計檢査院へ差廻す等に付、右取調を置くべき旨を各省長官より同會計掛へ此程内達せしといふ

○土族授産金 鳥取縣令山田健造君の授産金貸下の儀ハ、付事常々盡力し、數回その儀を請願せられたる甲斐ありて、遂に金十方圓を下賜さるゝ事にありしと云ふ

○金塊運送 先般大藏省國債局より大抵送される金塊十二箱(該金高十五万三)今同局に於て金貨に鑄造中なるといふ

○船稅規則改正 大藏省租稅局に於て、規則を改正するゝに付、先頃より調査中の點せしを以て、此稿參事院へ上申せられたり

○水先免狀 是迄水先免狀を下附せらるゝ規に依り、同免狀を今般農商務省管船局上下附さるゝに付、目今同局にて書換中

○里標 北海道札幌根室の兩縣に於ける道筋ハ、一里毎に里標を建設するゝた吏數名を各地に派出せられ、目今専ら測

○發行停止 大坂の立憲政黨新聞は、去節より電報を以て、目今發行停止を命せられたり

○石神建儀費 今度有志の人々が故加念碑を品川東海寺に建築するに聞て、甲を除く七郡の百九十社の祠官補宜より集して右費用の中へ寄附するゝよし

○明治政談演說會 明後十九日木挽町で開かるゝ明治政談演說會の出席員並に、雄雄(何チカ深沈著實ト謂フヤ)高島小政路(産ムモノハ地方官會議カ)高木(語ノ結果)村上定(青年社會)久代孝次(矢田積(諮詢會)成果ヲ論ス)森下岩楠(望ムハ人情ノ常)須田辰次郎(參事院感アリ)の諸氏あり

○關西府縣會議員懇親會 去る十一日、熊鷹よ於て開かれたる關西二府二十四議員懇親會は、午前より會員陸續とし、午後三時一同着席、坐已に定る時、會主牧野貴部中井の両氏起て、會員來會の身と會と懇談し、會の發展の儀、祝文朗讀互に以て勸告を披ひて、快談興談を盡せられたり、會中、會中せられたり、



行 來る十八日午前八時御出門にて内務省事務廳を以て行幸せらるゝや承りぬ

○御所御買上 先頃宮内省より東武地方へ御買入の爲り、官廳名を提出せし、御所御買入物の之、九よて右御買上の御所御買入物せし、付直らて青山